



まなびい掲示板

▶エコライフセミナー 全3回

第2回 地球は宇宙の中でどんな星？

とき 9月29日(金) 19:30~21:00

ところ 葛巻小学校

内容 月と地球の関係を学びます。

講師 小岩井農場まきば園

齋藤政宏さん（滝沢村）

対象 小学生以上（定員20人）

※第3回は、10月28日(土)開催予定

▶日常のマナー教室 全3回

とき ①9月8日(金) 13:30~15:00

②9月19日(火) //

③9月28日(木) //

ところ 総合センター

内容 洋室と和室の作法を学びます。

講師 全日本現代作法協会

茶畑テルさん（久慈市）

対象 成人（定員20人）

▶七宝焼き教室 全4回

とき ①9月27日(金) 13:30~16:00

② // 18:30~21:00

③10月6日(水) 13:30~16:00

④ // 18:30~21:00

ところ 総合センター

講師 藤岡陽美さん（平船）

福田千夜子さん（四日市）

対象 中学生以上（定員各回15人）

※申し込み・問い合わせは、生涯学習課

（☎役場内線166）まで。

おいしかったよ、自然の恵み
わくわくふるさと探検隊（農作業体験）

小学生対象の「わくわくふるさと探検隊」第二回教室は八月三日、元木地区で行われ、参加した十一人の隊員たちは野菜の収穫を体験しました。畑にはトマトやジャガイモなどの野菜がいっぱい。みんなで協力して収穫し、自分たちの手で調理して新鮮な自然の恵みを味わいました。今回は九月三十日、町内の施設や名勝を探検します。



「大きなトマト見つけたよ」

黛まどかさんが選ぶ
風と恋の俳句コンテスト

締め切り間近！9月10日

全国各地から続々と作品が寄せられている「第5回風と恋の俳句コンテスト」。今年も、町民を対象に「黛まどか特別賞」が設けられていますので、まだ投句されていない方はお早めにご応募ください。締め切りは、9月10日。表彰式は11月4日、総合センターで行われます。



まなびを通じて
暮らしに潤いを

「町民まなびい学園」では、さまざまな“まなび”の機会を提供し、皆さんの生涯学習を応援しています。自らの知識や技能をより深めることは、日々の暮らしに潤いをもたらす、真に生きがいのある人生の創造につながります。あなたは、どんな“まなび”を実践していますか。最近人気のあった講座を紹介します。

力作が勢ぞろい

木工教室

七月二十五日から全五回の日程で行われた木工教室は、キャビネット（飾り棚）を製作しました。受講生は、組み立てに苦戦したようですが、最終日には全員が完成させました。参加した澤口由美子さん（48歳・城内小路）は、「思っていた以上に素敵な作品ができた。これからもいろいろな作品に挑戦したい」と話していました。



「木の実のパン」の作り方を学ぶ受講生

自然の力を学ぶ

自然食講座

自然食講座第二回教室は七月十九日に行われ、雑穀や夏野菜を使った料理を学びました。中でも、玄米酵母を使い、クルミや松の実などを入れる「木の実のパン」の作り方は、受講生の注目を集めました。講師を務めた村中宮子さん（47歳・山岸）は「自然の持つ尊い力を知って欲しい」と呼び掛けていました。



機械を使った難しい作業にも挑戦

公民館図書室から

「こちら北国、山の中」

三上亜希子 著



都会育ちの著者が、日々の農作業や自給自足の食卓、密すぎる人間模様など、岩手の山奥の農家の1年をユーモラスに綴る。

「奥中山・無番地物語」

やえがし こうぞう 著



昭和21年、日本は戦争に負けて、たくさんの人々が国の方針に従って、未開の土地に開拓者として入植しました。

「白樺分校日記」

佐藤慶頭 著



岩手の小さな分校を舞台に、生徒との心温まる日常を綴る。教師と生徒の素朴で力強い信頼関係がここにある。

俳句の楽しみ⑥

親子でこつばあざび

おばあちゃん
あくびがみつあきのおそら
おばあちゃんも昔は、お母さんのように忙しく働いたのです。今までいっぱい働いたのだから、いっぱい休んでいいのです。



おこづい
おにだけのこつ秋の風
「秋の風」はさびしさを感ずる風です。追いかけてもなかなかつかまえない鬼は、だんだんさびしくなりますね。

大人の指導者は、まず子どもに、目に映ったことや思ったことをどんどん言ってもらおうようにしましょう。子どもが俳句にしたいと思ったことを、一人で見つけることができれば褒めてあげ、心の思いが出てくるようにします。

どうしたらいいのか迷っている子どもには、話を聞いている中で「それはいいね」と相づちを打って、ヒントを与えるといいでしょう。

参考 蝸牛新社「小学生の俳句歳時記」